

自衛艦隊司令官 殿
航空集団司令官

海上幕僚長
(公印省略)

硫黄島における火山活動観測要領について（通達）

標記について、別紙のとおり定める。

なお、硫黄島における火山活動観測要領について（通達）（海幕運第287号。30.3.27）は廃止する。

添付書類：別紙

写送付先：横須賀地方総監

第4航空群司令

硫黄島航空基地隊司令

文書管理者：海幕運用支援課長 一元的な管理に責任を有する者： 取得年月日：

作成年月日：2023.3.17 保存期間：5年 保存期間の満了する日：2028.3.31

本紙を含め：8枚 配布先：

硫黄島における火山活動観測要領

1 目 的

硫黄島における火山活動の観測に関し必要な事項を定め、所在部隊の保安に資する。

2 実施部隊

航空集団司令官所定とする。

3 観測の種類等

次表のとおり。

種 類	種 別
通 常 観 測	断 層 観 測
	噴 気 温 度 観 測
	地 震 観 測
特 別 観 測	断 層 観 測
	噴 気 温 度 観 測
	地 変 の 監 視

4 実施要領

次のほか、実施部隊の長所定とする。

(1) 通常観測

付紙第1のとおり。

(2) 特別観測

特別観測は、5日間の地震回数が200回を超えた場合、又は、1日の地震回数が40回を超えた場合に、通常観測に加えて、次の観測を行う。

ア 断層観測、噴気温度観測

観測時期を1日1回とするほか、通常観測に同じ。

イ 地変の監視

島内巡視を実施し、有感地震、鳴動、海岸線の移動、新たな断層及び噴気の発生等を監視する。

なお、本監視についての観測記録の様式等は、実施部隊の長所定とする。

5 保 安

観測の実施にあたっては、保安に十分留意し、危険な兆候を認めた場合は、観測作業を中止するものとする。

6 報告等

実施部隊の長は、付紙第2に示す報告等を実施するものとする。

7 その他

この要領に基づく観測に関し、防災科学技術研究所から、技術面の協力及び指導が得られる。

通常観測実施要領

観測種別 項目	断層観測	噴気温度観測	地震観測
観測点	防災科学技術研究所との調整に基づき実施部隊の長所定		
観測時期	おおむね10日に1回		常時
観測器材 (観測手段)	1 クリノメーター 2 断層変位量測定器 (構成及び設置要領は、属紙第1のとおり。)	サーミスター温度計	地震観測装置
観測作業	1 断層変位量測定器のスケール（以下「スケール」という。）の先端を目盛板上の面に設置させる。 2 スケールの先端が示す目盛板上の上下及び水平方面の目盛を読み取る。 3 スケール上の読取点の目盛を読み取る。 4 支柱のE、F、G及びH面の鉛直面からの傾斜をクリノメーターで読み取る。	サーミスター温度計の感部を噴気孔の内部にできるだけ深く入れて温度を読み取る。	1 短周期地震計による観測 「気象庁火山観測指針」を準用し、次の観測を行う。 2 日別地震回数 0000から翌日0000までの地震回数 3 5日間地震回数 当日までの連続した5日間の日別地震回数の合計
観測記録	属紙第2のとおり。	属紙第3のとおり。	様式等は実施部隊の長の所定とする。

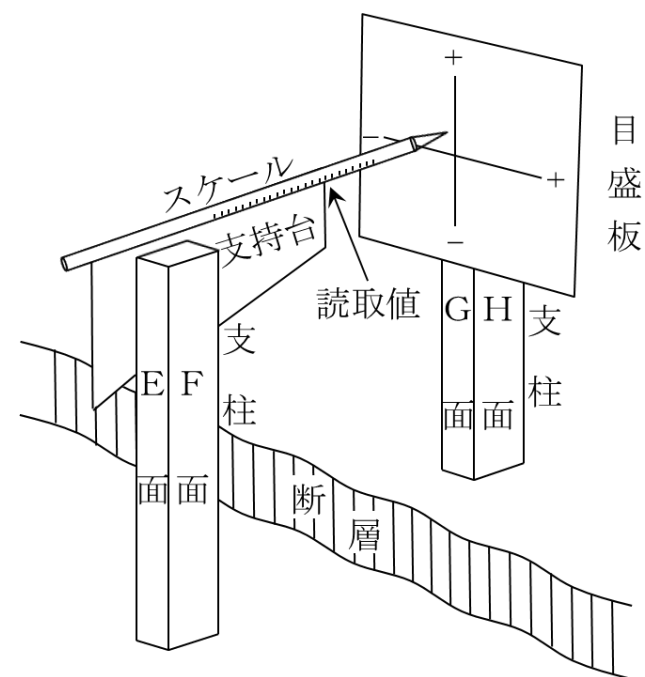
断 層 変 位 量 測 定 器 の 構 成

1 構 成

- (1) 支 柱×2
- (2) 目盛板
- (3) スケール
- (4) 支持台

2 設置要領

- (1) 断層をはさむ2本の支柱を結ぶ線と、断層の線は垂直とする。
- (2) 2本の支柱は鉛直とする。
- (3) スケールの軸線と目盛板の面は垂直とする。

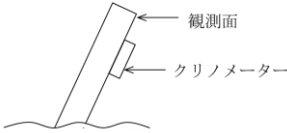


断 層 観 測 記 録 観 測

観 測 年 月 日
天 気

観測点	上下変動			水平変動			幅変位			支柱傾斜				記 事	観測者
	A	AD	SAD	B	BD	SBD	C	CD	SCD	E 面	F 面	G 面	H 面		
例 D, No 1	-11	0	-2	-5	+1	-4	495	+2	+5	+1	+2	-1	0		海 野
記 事															

- 記入要領
- 1 A, B, C欄は読取値をミリメートル単位で記入する。
 - 2 AD、BD、CD欄は前回の読取値に対する読取値の増減を記入する。(増：(+)、減：(-))
 - 3 SAD、SBD、SCD欄は変位量測定器設置からの変位量を記入する。
 - 4 E面、F面、G面、H面欄は鉛直面からの傾斜を度単位で記入する。(オーバーハングの状態：(-)、逆 (+))



オーバーハングの状態

噴 気 温 観 測 記 録 観 測

観 測 年 月 日
天 気

観測点	時 刻	測定値	補正值	噴気温度	噴気温度 変 化	気 温	サーミスター 番 号	記 事	観測者
例 F. No 1	1430	115.5	0	115.5	+1.5	28.5	No2345	噴気量前回に比しやや増える。	海 野
記 事									

- 記入要領
- 1 温度の単位は摂氏 (°C) とする。
 - 2 測定値の最小位数を 0.5 とする。
 - 3 噴気温度変化は前回観測時の噴気温度に対する増減を記入する。(増 : (+)、減 (-))

火 山 活 動 観 測 報 告 等

名 称	観測の種別	報告（通報又は資料送付）先	時 期	様 式 等
断層観測記録	断層記録	(海幕防衛部長)	観測実施後速やかに。	様式及び記入要領は、付紙第1・属紙第2のとおり。部数4部
噴気温度観測記録	噴気温度観測			様式及び記入要領は、付紙第1・属紙第3のとおり。部数4部
観測点変更通報	断層観測及び噴気温度観測		断層記録又は噴気温度観測の観測点を変更したとき。	地形図等により位置を示し変更の理由を記入する。部数3部
地震回数速報	地震観測		特別観測実施中及びその翌日1日1回	電報形式 地震回数速報 1 5日間地震回数 2 同上5日間の日別地震回数 （既に報じている日の分を除く。） 3 その他（異常の有無等） 例1 地震回数速報 1 92 2 16日24 17日25 18日18 19日13 20日12 3 な し 例2 地震回数速報 1 78 2 21日10 3 な し
火山活動異常速報	—	海 幕 長	異常を認めたとき。	電報形式 火山活動異常速報 1 必要とする措置 2 死傷者等の有無及びその状況 3 火山活動の状況 4 その他 例 火山活動異常速報 1 な し 2 な し 3 ミオタラホウ 1630 噴火 小規模 4 な し